

大湖堤 ハザードマップ 村上市 山田

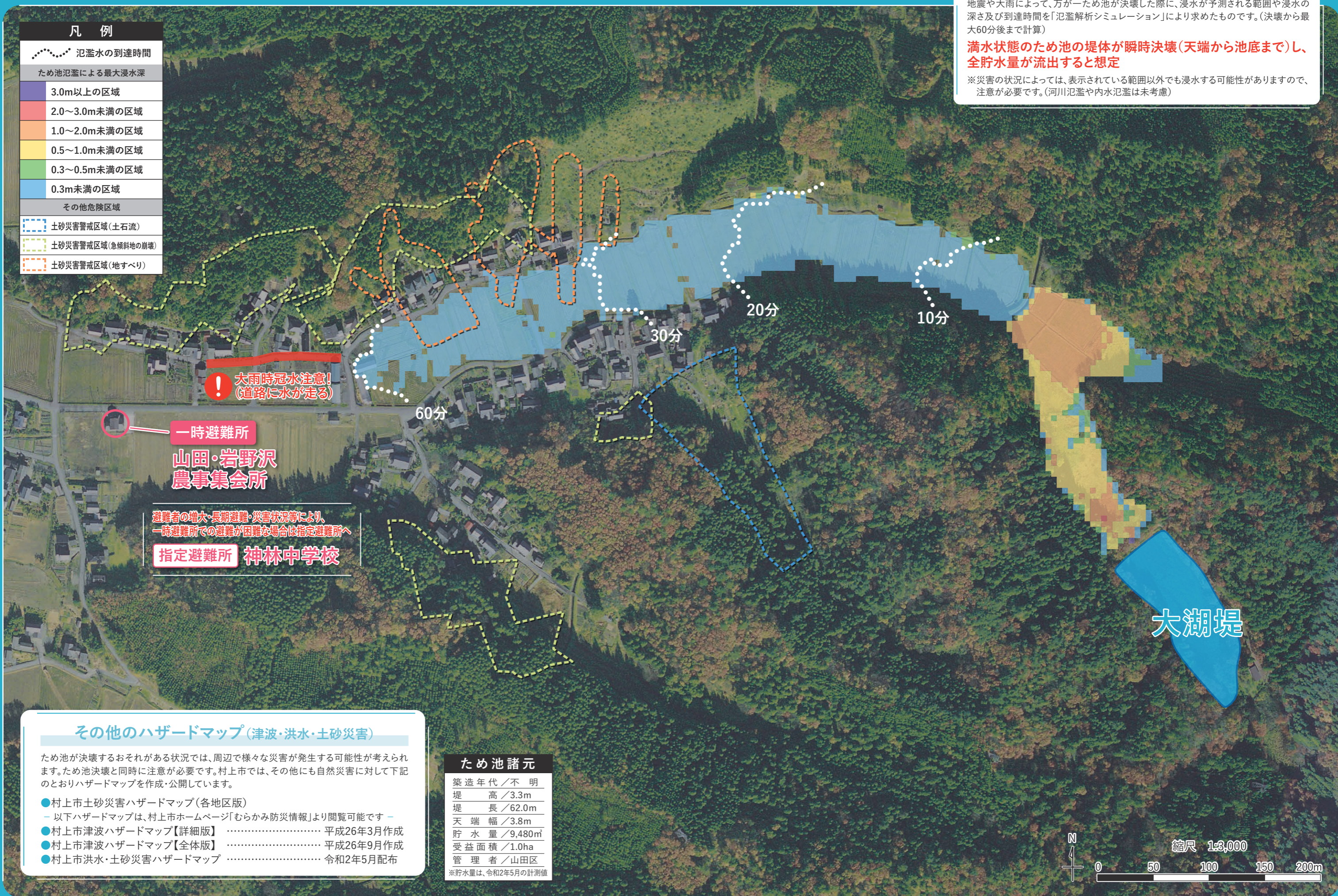
氾濫解析の前提条件

地震や大雨によって、万が一ため池が決壊した際に、浸水が予測される範囲や浸水の深さ及び到達時間を「氾濫解析シミュレーション」により求めたものです。(決壊から最大60分後まで計算)

満水状態のため池の堤体が瞬時決壊(天端から池底まで)し、全貯水量が流出すると想定

※災害の状況によっては、表示されている範囲以外でも浸水する可能性がありますので、注意が必要です。(河川氾濫や内水氾濫は未考慮)

凡 例	
	氾濫水の到達時間
	ため池氾濫による最大浸水深
	3.0m以上の区域
	2.0~3.0m未満の区域
	1.0~2.0m未満の区域
	0.5~1.0m未満の区域
	0.3~0.5m未満の区域
	0.3m未満の区域
	その他危険区域
	土砂災害警戒区域(土石流)
	土砂災害警戒区域(急傾斜地の崩壊)
	土砂災害警戒区域(地すべり)



その他のハザードマップ(津波・洪水・土砂災害)

ため池が決壊するおそれがある状況では、周辺で様々な災害が発生する可能性があります。ため池決壊と同時に注意が必要です。村上市では、その他にも自然災害に対して下記のとおりハザードマップを作成・公開しています。

- 村上市土砂災害ハザードマップ(各地区版)
 - 以下ハザードマップは、村上市ホームページ「むらかみ防災情報」より閲覧可能です -
- 村上市津波ハザードマップ【詳細版】 平成26年3月作成
- 村上市津波ハザードマップ【全体版】 平成26年9月作成
- 村上市洪水・土砂災害ハザードマップ 令和2年5月配布

ため池諸元

築造年代	不明
堤 高	3.3m
堤 長	62.0m
天 端 幅	3.8m
貯 水 量	9,480m ³
受益面積	1.0ha
管 理 者	山田区

※貯水量は、令和2年5月の計測値



いざ!というときの心得

(避難時の注意点)

- がけ地や河川・水路沿い、ため池の正面は危険なので、できるだけ避けて避難しましょう。
- 隣近所に声をかけ合って、家族やグループで避難しましょう。お年寄りの避難に協力を!
- 避難する時は、サンダル・長靴は危険なので運動靴で避難しましょう。
- むやみな移動はかえって危険! 浸水の状況に応じて、自宅の2階などへ臨機応変に避難しましょう。

緊急時の連絡先

我が家の避難場所

電話番号

連絡先 電話番号(0254)

村上市 農林水産課	53-3369
村上市 総務課	53-3365
村上市 神林支所 産業建設課	66-6114
村上地域振興局 農林振興部 農村計画課	52-7951
村上市消防本部	53-0119
村上市消防署 神林分署	66-7123
村上警察署	52-0110
村上警察署 小口川駐在所	56-7412
山田・岩野沢農事集会所	60-0502
山田区長(ため池管理者)	

家族の連絡先と避難時のメモ

ため池緊急時の対応

ため池点検者：山田区役員

地震	のとき	大雨	のとき
● 堤体の亀裂、崩れ、沈下		● 水位の上昇 (余水吐からの越水)	
● 漏水(にごり水)、水位異常		● 下流水路の水位異常	
● 施設の破損			

上記のような現象が見られたら
ため池管理者へ報告

※点検や見回りの際は、安全確保のため、必ず複数の人で行動して下さい。
※また、現地の状況に応じて無理せず行って下さい。

ため池管理者：山田区長

ため池 異常あり	ため池 異常なし
応急措置の指示 神林支所へ連絡	引き続き監視し、情報収集

区長は各戸に連絡(告知端末放送)

応急措置のポイント

- 破堤するおそれがあるため直ちにため池の水位を下げる。(豪雨の発生が予想される場合は事前に水位を下げる対応が有効です)
- 堤体の亀裂、崩れ等の拡大防止のため、保護シートや土のう等を設置する。



防災重点ため池

大湖堤ハザードマップ

こんなときは要注意!

(ため池決壊の原因)

地震

地震の時に、ため池の堤体が異常な力を受け亀裂が生じることや、地盤の液状化により、決壊する危険性があります。比較的小さな地震でも、堤体の内部に生じた亀裂などにより強度が低下し、水圧に耐え切れず決壊に到ることがありますので注意が必要です。



大雨

大雨のとき、ため池の水位が上昇し堤体をのり越えた水の勢いによって堤体が浸食され、決壊することがあります。流木やゴミが余水吐の断面を閉塞させると、堤体を越流しやすくなり、浸食・崩壊の危険性は、一層高くなります。



近年多発する豪雨災害・震災の影響で、ため池の被害が生じています。新潟県内においても、平成16年の7・13豪雨災害、中越大地震等でため池が被害を受けており、その中には、堤体が決壊し、下流の農地や人家等に被害を及ぼしたものもありました。また、平成30年7月の西日本豪雨では、小規模なため池で甚大な被害が生じたことから「防災重点ため池」の考え方を見直し、再選定が行われました。

このハザードマップは、大雨や地震によりため池の堤体が決壊しそうななど危険な状態になった場合、みなさんが安全に避難するために必要な情報が記載されています。

災害関連情報入手先

国交省・気象庁・新潟県発信の防災関連サイトへのリンクも集約されています

